# 「エコリーフ環境ラベル」の概要

### 1 特徴

- o 製品の定量的な環境情報を第三者が認証・開示。その開示されたデータの評価については消費者に委ねるタイプの環境ラベル。(タイプ 環境ラベルに該当)
- o 製品の環境負荷は,ライフサイクルアセスメント(LCA)手法<sup>(1)</sup>に基づき環境 負荷(エネルギー消費量,CO2排出量など)を算定。
  - 1 製品やサービスにかかわる資源の採掘から,製造,使用,廃棄,リサイクルに至る各段階の資源やエネルギーの投入量とさまざまな排出物の量,これらによる環境影響等を数値化し,環境改善などに向けた意思決定を支援するための手法。

### 2 作成手順

- o STEP1:製品分類別基準 ( P S C : Product Specification Criteria ) 制定
  - ・ 製品分類(電力,パソコン,机など)毎にラベル作成ルールを制定。 なお系統電力の製品分類別基準(PSC)は平成15年5月に制定済み。
- o STEP2:エコリーフ(案)作成
  - ・ 制定済製品分類別基準(PSC)に基づき,ラベル公開企業が自社製品のライフサイクル環境負荷を算定し作成。
- o STEP3:外部検証・認定
  - 外部検証員によるデータ検証後,有識者等で構成するレビューパネルにより審議・ 承認。
- o STEP4: 登録・公開
  - ・ 確定されたエコリーフ環境ラベルは登録番号を添付され公開。

### 3 エコリーフの構成

・ 製品環境情報,製品環境情報開示シート,製品データシートの3部で構成。

製品環境情報 当該製品の定量的環境情報を消費者に分かりやすくまとめた情報の要点を集約したもの 製品環境情報開示シート情報のうち重要な情報を掲載

製品環境情報 開示シート

製品データをもとに,あらかじめ決められた LCA 手法で計算された 環境負荷を所定の様式に取りまとめたもので,「製品環境情報」に記 載された内容の根拠となるもの



製品分類別基準 (PSC) に基づき全ライフサイクルにおける環境負荷を計算

製品データシート

燃料調達,発電,電力流通,リサイクルの各ステージにおいて消費されるエネルギー・物質や排出される物質に関する LCA 計算に用いる入力データと設定条件を記載したシートで,ラベル作成者が測定または調査収集して得られたデータが記載されたもの



製品分類別基準 (PSC) に基づき製品データを整理

## 【参考1】 環境ラベルの分類

環境ラベルとは,消費者が環境負荷の少ない製品やサービスを選ぶ際に役に立つツールとなるものであり,現在 ISO(国際標準化機構)では,タイプ ,タイプ ,タイプ の3種類を定めている。

分 類	特 徵
タイプ	・定められた製品のカテゴリと判断基準をもとにして ,第三者機関が審査を行い ,
	合格した製品にマークの使用が認められるもの。
	(例:(財)日本環境協会 エコマーク)
タイプ	・自己宣言による環境主張型ラベルであり,自社の製品がどのように環境に配慮
	しているかを,企業自ら市場に向かって主張するもの。
タイプ	・製品の一生に亘る環境負荷を , LCA 手法に基づいて第三者機関が審査を行い ,
	定量的に開示するラベルであり,合否の判定はなく,評価を消費者に委ねるも
	の。(例 :( 社 ) 産業環境管理協会 <sup>(2)</sup> エコリーフ )

<sup>2 1962</sup> 年に,公害問題の発生を契機に電力,鉄鋼など各種産業からの企業により組織された社団法人。各種アセスメント評価,技術開発,調査などを行う一方,IS014000 関連でも中心的役割を果たしている。

### 【参考2】 作成から公表までの仕組み

